



西会津小だより

11月号

No. 8

【教育目標】

めあてをもって、やりぬく
～みんなの学校、ちいきの学校、にしいづ小学校～

令和2年11月25日(水)

文責：校長 博多弘泰

児童1人1台端末(iPad)

[1年生:タブレット配付]

11月17日(火)に4～6年生に新iPad、11月18日(水)に1～3年生にiPadが配付され、児童1人1台のタブレット端末が使用できるようになり、教育ICT環境が整いました。これまでは、4年生以上がiPadを使用しておりましたが、今回初めて1～3年生も使用可能になりました。これまで4～6年生は、①各教科で検索サイトを活用した調べ学習、②「ジャストスマイルドリル」での学習内容の復習や家庭学習、③校外学習のまとめに活用する写真撮影、④理科の実験の様子を撮影し、もう一度詳しく様子を観察、⑤体育の跳び箱の学習で、自分のフォームを撮影して確認…タブレット1人1台を活用して、教科の学びを深めました。1～3年生の配付の際には、町教委の方2名にパスワードの入力・操作方法等について説明を受け、カメラ・メモ機能の操作やアプリを選択しての学習に取り組んでいました。

本校の現職教育(校内研究)では、ICTの効果的な活用の仕方について研究を進め、検証することで、授業改善とICT活用指導力の向上を図っています。既に、ほとんどの学級でICTを活用した授業研究が行われており、成果も現れています。今後も研究を重ね、子どもたちが「1人1台端末」を日常的に活用し、教科の学びを深め、その学びをつなぐことができるようにしていきたいと思えます。



その学びをつなぐことができる

基礎的読解力の向上

11月18日(水)、リーディングスキル(RS)を意識した授業実践等を中心に、読解力向上を目指した西会津中学校の公開授業研究会の全体会に全職員で参加しました。リーディングスキル(RS)とは、教科書などの「基礎的な読む力」や「図やグラフなどからも情報を読み取る力」などの基礎的読解力です。今年度の全国学力学習状況調査の問題を見ても、日常生活の場面と関連づけられた設定の中で「読む」ことができなければ、問題の内容を理解できない内容になっています。今、子どもたちに必要なことは、基礎的な読解力です。日々の授業で、教科書等を「正確に読むこと」を大切にしながら、問題提示・発問・板書計画など授業改善を基礎的読解力の視点から実施したり、正しく読まなければならないという必要感を大切に授業づくりを行っていききたいと思います。また、9年間(義務教育)の育ちを見据え、基礎的読解力の向上を目指した積極的な小中連携の必要性を実感しました。

実りの秋(校外学習)

小学校での学習活動において、具体的な活動や体験を伴う校外学習は重要な役割を担っています。具体的事実認識から抽象的思考へと進む小学生の学び方にふさわしいものだと思います。この秋、各学年で、生活科での町探検、総合的な学習の時間でのミネラル野菜や歴史の学習、社会科での工場見学、理科での川の観察など西会津町内に校外学習に出かけ、地域の力を生かしての教育活動を展開した学びの充実を図っています。

